

令和7年度 土気南小学校 学校経営について

令和7年4月18日

学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成

～これからの社会を、未来を心豊かによりよく生きる児童を育成するために～

[めざす子どもの姿]

思いやりのある子（徳育）

- 相手のことを思いやり尊重する子
- 自分のことも相手のことも大切にする子
- 自分のよさや相手のよさを見つける子
- 感謝の気持ち「ありがとう」を大切にする子

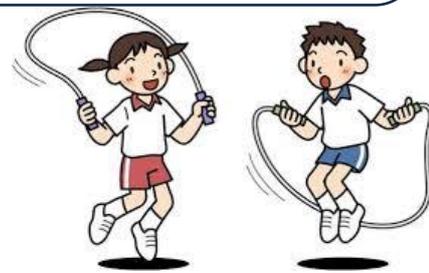


進んで学ぶ子（知育）

- 好奇心を持ち、主体的に考え学ぶ子
- 学んだことを次の学びに生かす子
- 自分の考えや思いを表現し、コミュニケーションを図る子

健康でたくましい子（体育）

- 安全に気を付け、心身の健康づくりに励む子
- 様々な困難や課題を乗り越えていく子
- 外遊びを楽しみ、進んで運動に親しむ子



[めざす学校の姿]

目を輝かせ笑顔あふれる学校（児童）

- 一人一人のよさや可能性を大切にし、伸ばす学校
- 学習において「わかる」「できる」を実感できる学校

安心・信頼できる学校（保護者・地域）

- 家庭や地域との信頼関係のもと、その教育力を生かす学校
- 安心安全で信頼される学校、ふれ合い・学び合い・開かれた学校

働きがい・生きがいのある学校（教師）

- 職員が個々のよさを発揮し、協力し合い教育活動に取り組む学校（職場）
- お互いに磨き合い、高め合い、成長し合うことのできる学校（職場）

今年度の学校経営の重点

- 子ども一人一人の特性や個性の理解に努め、その子のよさを伸ばす教育を推進します。
- 教職員と子ども、子ども同士の心のふれあいを通じた信頼関係や人間関係の構築に努めます。
- 子ども一人一人に寄り添い、誰一人取り残すことのない教育の実現に向けて努めます。
 - ・ いじめのない学校づくり
 - ・ 登校できない子どもへの支援
 - ・ 合理的配慮が必要な子どもへの計画的なサポート など
- 子どもが「わかった」「できた」を実感できる授業づくりに努めます。
 - ・ ICTの効果的な活用
 - ・ 交流のある学習指導
- よりよい学校づくりに子どもが積極的に参画できるようにします。
 - ・ 児童会活動とふれあい活動の充実
 - ・ 学校生活上の課題解決
- 家庭・地域との相互理解と信頼関係の構築に努め、地域の教育力を学校に生かすようにします。
- 学校から家庭や地域への積極的な情報発信に努め、「地域の中の学校」として本校の教育活動への理解を得られるようにします。

本校はこれまで、合言葉「オ・ア・シ・ス」(おはよう・ありがとう・しつれいします・すみません)を大切にしてきました。挨拶はコミュニケーションの基本です。引き続き、気持ちのよい挨拶ができるよう指導してまいります。※今年度も「ありがとう」を大切にします。

子どもたちの可能性を最大限に引き出し、笑顔あふれる学校を創っていくためには、保護者や地域の皆様と手を携え、力を合わせていくことが何よりも大切になります。全職員が子どもの健やかな成長を願って精一杯指導してまいりますので、これまでと同様にご支援とご協力をお願いします。

「み」 みんなちがって、みんないい (個性の尊重)
「な」 なないろに (多様性の尊重)
「み」 みんなかがやけ (個性の伸長)



【校章について】

全体の線は、土気の「土」を表すと共に、山辺郡の山、九十九里から屹立する土気の地形、更に歴史的に由緒ある大椎城の土塁を意味します。そして、中央に南の字を配して学校の位置を示し、これを囲む鋭い三角形もって、子どもたちが杉の如くたくましく健やかに成長することを願っています。

